

法令試験問題

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。
()
- (2) 貸切バス事業者の事業計画は、営業区域、営業所の名称及び位置、営業所ごとに配置する事業用自動車の数のみである。
()
- (3) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して六ヶ月間保存しなければならない。
()
- (4) 輸送実績報告は一年間保存しなければならない。
()
- (5) 事業者は、事前に届出を行えばその名義を他人に利用させてもよい。
()
- (6) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。
 - ① 地方自治体、学校関係者等の利用者を選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない ()
 - ② バスガイドの要否を、行程検討の際の留意点の一つとしている ()
 - ③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている ()

(7) 下記に掲げる項目のなかで、事業者の事業用自動車の運転者、車掌その他の乗務員のしてはならない行為として、法令で定められているものはどれですか。してはならない事項には×印を、そうでない事項には○印を記入しなさい。

- ①旅客の現在する事業用自動車内で飲食すること。 ()
- ②旅客の現在する事業用自動車内で喫煙すること。 ()
- ③運行時刻前に発車すること。 ()
- ④旅客の現在する事業用自動車において、その車外へ出ること。 ()

(8) 事業者は、認可を受けた運賃の範囲内で運賃を定め、あらかじめその旨を届け出なければならない。 ()

(9) 乗車定員11人以上の自動車の使用者は、保有車両3両以上でなければ自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなくてもよい。 ()

(10) 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の許可を受けなければならない。 ()

(11) 事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために旅客の運送を継続すること等適切な処置をしなければならない。 ()

(12) 旅客自動車運送事業者は、いかなる理由があっても試みの使用期間中の者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。 ()

(13) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。 ()

(14) 事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合でも、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。 ()

(15) 事業者は、安全統括管理者を選任しなければならない。 ()

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

- (1) 旅客自動車運送事業者は、() に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

ア. 乗務員 イ. 従業員 ウ. 運行管理者

- (2) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の() を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。

ア. 履歴書 イ. 乗務員台帳 ウ. 乗務員証

- (3) 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から() 以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。

ア. 十日 イ. 十五日 ウ. 三十日

- (4) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、() 以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

ア. 十二時間 イ. 二十四時間 ウ. 四十八時間

- (5) 道路運送法は() と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の() の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、() を確保し、道路運送の利用者の利益の保護及び利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって() を増進することを目的とする。

ア. 道路運送車両法 イ. 供給 ウ. 公共の福祉 エ. 道路交通法 オ. 需要
カ. 事業者利益 キ. 道路運送車両法 ク. 旅客の利便 ケ. 貨物利用運送事業法
コ. 輸送の安全 サ. 性別 シ. 貨物自動車運送事業法 ス. 年齢

- (6) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している() 適切な処置をしなければならない。

ア. 事業者のために イ. 旅客のために ウ. 乗務員のために

(7) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を（ ）により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。

ア. 乗務記録 イ. 運行記録計 ウ. 運行指示書

(8) 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が（ ）で定めるところにより、主として運行する路線又は（ ）の状態及びこれに対処することができる（ ）並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を（ ）し、かつ、その記録を営業所において（ ）保存しなければならない。

ア. 三年間 イ. 通達 ウ. 経路 エ. 法 オ. 申請 カ. 自動車
キ. 教育 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 五年間 サ. 運転技術 シ. 省令
ス. 報告 セ. 一年間 ソ. 記録 タ. 届出 チ. 営業区域 ツ. 運転者

【筆記問題】

- (1) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならないが、その運行指示書に記載しなければならない事項として法令で定められているものを1つ正確に記入しなさい。

答. _____

- (2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は () ごとに定期点検整備をしなければならない。

答. _____

- (3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。

答. _____

- (4) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の懲役又は禁錮の刑に処され、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から () を経過してない者であるとき、許可をしてはならない。

答. _____

- (5) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の的確な実行及び () の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

答. _____

法令試験問題 模範解答

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20=20点

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。(○)

- (2) 貸切バス事業者の事業計画は、営業区域、営業所の名称及び位置、営業所ごとに配置する事業用自動車の数のみである。(×)

- (3) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して六ヶ月間保存しなければならない。(×)

- (4) 輸送実績報告は一年間保存しなければならない。(×)

- (5) 事業者は、事前に届出を行えばその名義を他人に利用させてもよい。(×)

- (6) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。
 - ① 地方自治体、学校関係者等の利用者を選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない (×)
 - ② バスガイドの可否を、行程検討の際の留意点の一つとしている (○)
 - ③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている (×)

(7) 下記に掲げる項目のなかで、事業者の事業用自動車の運転者、車掌その他の乗務員のしてはならない行為として、法令で定められているものはどれですか。してはならない事項には×印を、そうでない事項には○印を記入しなさい。

- ①旅客の現在する事業用自動車内で飲食すること。 (○)
- ②旅客の現在する事業用自動車内で喫煙すること。 (×)
- ③運行時刻前に発車すること。 (×)
- ④旅客の現在する事業用自動車において、その車外へ出ること。 (○)

(8) 事業者は、認可を受けた運賃の範囲内で運賃を定め、あらかじめその旨を届け出なければならない。
(×)

(9) 乗車定員11人以上の自動車の使用者は、保有車両3両以上でなければ自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなくてもよい。
(×)

(10) 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の許可を受けなければならない。
(×)

(11) 事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために旅客の運送を継続すること等適切な処置をしなければならない。
(○)

(12) 旅客自動車運送事業者は、いかなる理由があっても試みの使用期間中の者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。
(×)

(13) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。
(×)

(14) 事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合でも、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。
(×)

(15) 事業者は、安全統括管理者を選任しなければならない。
(○)

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×15＝15点

- (1) 旅客自動車運送事業者は、(イ) に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

ア. 乗務員 イ. 従業員 ウ. 運行管理者

- (2) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の (イ) を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。

ア. 履歴書 イ. 乗務員台帳 ウ. 乗務員証

- (3) 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から (イ) 以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。

ア. 十日 イ. 十五日 ウ. 三十日

- (4) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、(イ) 以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

ア. 十二時間 イ. 二十四時間 ウ. 四十八時間

- (5) 道路運送法は (シ) と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の (オ) の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、(コ) を確保し、道路運送の利用者の利益の保護及び利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって (ウ) を増進することを目的とする。

ア. 道路運送車両法 イ. 供給 ウ. 公共の福祉 エ. 道路交通法 オ. 需要
カ. 事業者利益 キ. 道路運送車両法 ク. 旅客の利便 ケ. 貨物利用運送事業法
コ. 輸送の安全 サ. 性別 シ. 貨物自動車運送事業法 ス. 年齢

- (6) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している (イ) 適切な処置をしなければならない。

ア. 事業者のために イ. 旅客のために ウ. 乗務員のために

(7) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を（イ）により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。

ア. 乗務記録 イ. 運行記録計 ウ. 運行指示書

(8) 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が（ク）で定めるところにより、主として運行する路線又は（チ）の状態及びこれに対処することができる（サ）並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を（ソ）し、かつ、その記録を営業所において（ア）保存しなければならない。

ア. 三年間 イ. 通達 ウ. 経路 エ. 法 オ. 申請 カ. 自動車
キ. 教育 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 五年間 サ. 運転技術 シ. 省令
ス. 報告 セ. 一年間 ソ. 記録 タ. 届出 チ. 営業区域 ツ. 運転者

【筆記問題】

1点×5＝5点

- (1) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならないが、その運行指示書に記載しなければならない事項として法令で定められているものを1つ正確に記入しなさい。

答. 運行の開始及び終了の地点及び日時、乗務員の氏名、運行の経路並びに主な經由地における発車及び到着の日時、旅客が乗車する区間、運行に際して注意を要する箇所の位置、乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る）、乗務員の運転又は業務の交替の地点（運転又は業務の交替がある場合に限る）、旅客自動車運送事業運輸規則第21条第3項の睡眠に必要な施設の名称及び位置、運送契約の相手方の氏名又は名称、運行の安全を確保するために必要な事項

- (2) 次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は（ ）ごとに定期点検整備をしなければならない。

答. 3ヶ月

- (3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。

答. 20時間

- (4) 次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の懲役又は禁錮の刑に処され、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から（ ）を経過していない者であるとき、許可をしてはならない。

答. 5年

- (5) 次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の的確な実行及び（ ）の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

答. 運行管理規程